

## 令和2年度 指定管理施設運営状況中間評価表

### 1. 施設の概要

施設の名称	むつ市介護老人保健施設やげん	
指定管理者	団体名	医療法人 章士会
	代表者	三上 史雄
	所在地	むつ市柳町一丁目8番22号
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）	
指定管理業務の概要	介護サービス（介護老人保健施設）	

### 2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	年間計画額 ①	上半期実績額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	138,800	56,241	▲82,559
うち利用料金額	122,100	56,075	▲66,025
うち指定管理料	0	0	0
支出合計 (B)	138,800	70,852	▲67,948
うち人件費	111,000	57,326	▲53,674
収支差 (A-B)	0	▲14,611	▲14,611
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	計画：ベッド利用率89%（25.8床/日）→ 利用率 80.5%（23.4床/日）。理由：必要な医療レベルが高く受入が難しい方や入所決定後に亡くなられた方等があり、入所者と退所者のバランスが上手くコントロール出来なかった。		

### 3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	介護老人保健施設			
	入所者数	9,400	4,274	▲5,126
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有・無） 提案箱、苦情受付窓口の設置、支援相談員による利用者とその家族との定期的な面談により、苦情や相談を収集している。今年度、苦情やそれに類することはなかった。				

### 4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収 入	支 出
夏祭り	※中止		

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A（優 良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B（適 正）：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C（要改善）：指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評 価 項 目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	—	—
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目についての改善策を記載すること。

ベッド利用率を通期89%（1日 25.8人）として目標設定し、その取組を通じて収支改善の足掛かりとしたいと考えている。上半期の進捗状況は45.4%、利用率80.5%（1日 23.4人）、前年度上半期比95.3%、前年度上半期比増減数で▲209人。未達の理由や背景は様々あるが、入退所者数のコントロールが速やかに、確実に行えなかった結果であると考えている。一方、喀痰吸引等における登録特定行為事業者の登録を受けるなど職員の資質向上の取組、施設サービスの質の向上への取組は継続して実施している。

7. 市の所管課総合評価 ㊤市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

国民健康保険大畑診療所併設の介護老人保健施設として、医療と福祉が相互に連携した施設運営が図られている。ベッド利用率の目標はクリアされていないが、職員の資質向上・サービスの質の向上の取組、また、市への報告・連絡・相談がされており、今後の目標達成を期待したい。施設の設備・備品に関しては、計画的に修繕及び更新を行いたいと考えている。